



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



広報

ま

つ

ぎ

き

9

2018
(平成30年)

No.652

感 慮 究 闘
平成24年松崎中男子バスケットボール部

ウエルネスまつぎ主催「バスケットボール教室」(7/29)

国内外で活躍するプロバスケットボール選手らが講師を務め、子どもたちはシュートやドリブルの基本動作や競技に取り組む上での大切な心構えを学び、プロバスケットボール選手のプレーに触れました。



下田市・南伊豆町・松崎町 ごみ処理事業広域化について

下田市・南伊豆町・松崎町の1市2町では、ごみ処理事業の共同実施に向けた取り組みが進められてきました。各市町の焼却施設の老朽化を受け、南伊豆町内に合同で民設民営による新施設を建設し、稼働させる方向で調整してきましたが、検討の結果、下田市と松崎町は今回の方式による施設整備については、一旦白紙とし不参加とすることになりました。

当町においては、雲見区の皆様のご理解をいただき、ごみ処理施設(クリーンピア松崎)を操業させていただいておりますが、ごみ処理施設の耐用年数は一般的に20年程度とされています。3市町の施設は、いずれも老朽化が進んでいる状況で、多額の維持管理費が大きな財

各市町の焼却施設経過年数

下田市	36年
南伊豆町	27年
松崎町	19年



▶クリーンピア松崎
(供用開始後19年経過)

政負担となつていきます。これらのことから、平成26年12月に、関係市町による広域化に向けた勉強会が立ち上げられ、協議が重ねられてきました。ごみ処理を広域化するメリット(長所)は、建設費、運転費、施設維持管理費の軽減、長時間運

によるダイオキシン発生
の抑制、余熱の有効利用
等があげられます。

この協議を踏まえた上で、平成29年1月に3市町の首長会議が開催され、南伊豆町内に新たな広域処理施設を建設する方向で検討していくことが決まりました。

その後、広域化に向けた話し合いを進め、民設民営方式による施設整備を検討してきましたが、次の理由から、今回の整備については不参加としました。1点目として、1市2町の枠組みの中で大きなウエイトを占める下

田市が、広域離脱の意向を固めたことから、スケールメリット(1町で処理するより複数の市町で処理した方が効率が良い)が減った。2点目として、

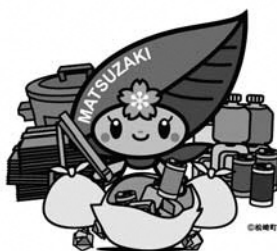
これまで検討してきた方式(民設民営)では、下田市離脱後、南伊豆町との2町広域で施設を整備するには、ごみの処理量が少なくなるため、事業者の参入見込みが難しい。3点目として、今回検討してきた方式による施設整備については一旦白紙とし、単独または広域化について再度検討する時間が必要ということ。なお、今後については、1市2町において、単独または広域化について再検討していくこととしました。

ごみ減量化について

ごみが排出されれば、排出された分だけ焼却等の処理費用がかかります。

町民一人一人の減量への取り組みが、町のごみ処理費用の節約につながります。

ごみを減らすにはさまざまな工夫が必要です。例えば、生ごみを減らすには、買い物に行く前に冷蔵庫の中等を確認し、必要以上の買い物をしていない。食材は使い切り、食べ残さない。野菜の皮等、今まで捨てていた部分を工夫して調理することにより、家計の節約にもつながります。また、生ごみの8割は水分で重く燃えにくいいため、十分に水をきってから出してください。



【問合せ】

クリーンピア松崎

(45)0602

生活環境課(42)3969

姉妹都市・地区との交流

松崎から帯広へ

板垣宏行松崎小学校教頭を団長とした小学生ら14人が、7月31日から8月2日まで帯広市を訪問しました。

一行は、帯広市役所への表敬訪問や依田勉三翁のお墓参り、アイススケートやミニホームステイ等で帯広の子どもたちと交流を深めました。

また、ジャガイモ掘りや十勝産の牛乳を使ったアイススクリーム作り体験等、帯広ならではの有意義な体験もできました。百年



▲とちかち帯広空港で記念撮影

記念館では、開拓にまつわる歴史や当時の生活の様子を学ぶとともに、勉三翁の書いた日記も見せていただきました。勉三翁が開拓にかけた不撓不屈の精神について触れることができました。

この3日間の訪問で、依田勉三翁の偉大な功績に触れるとともに、参加者にとつてすばらしい夏の思い出を作ることができました。

帯広から松崎へ

帯広市子供親善訪問団の小学生ら11人が、8月6日から8日までの3日間の日程で松崎町を訪れました。

初日は、光る泥だんご作りの体験をし、2日目は役場を表敬訪問した後、依田勉三翁ゆかりの三余塾資料館および旧依田邸での勉強や、依田勉三翁のお墓参りをしました。

松崎の子どもたちとは、岩地海岸で海水浴を行い、夜はミニホームステイでお互いの交流を深める等、楽しい夏休みの思い出を作ることができました。



▲岩地海岸でのスイカ割り

松崎から安曇へ

松本文貴松崎中学校長を団長とした松崎中学校2年生ら46人が、8月22日から24日まで松本市安曇地区を訪問しました。

目的は、安曇地区の大自然に触れるとともに、安曇中学校と大野川中学校との交流を通じて地区交流の絆を深めるものです。一行は松本市到着後、

重文岩科学校と姉妹館提携を結んでいる旧開智学校や松本城を見学しました。

翌日は、上高地を訪れ大正池から河童橋周辺を散策し、雄大な自然を満喫しました。午後からは安曇地区の中学生とマレットゴルフを行い、お互いの親睦を深めました。



▲マレットゴルフで交流会

安曇から松崎へ

松本市安曇地区の中学生ら15人が、7月10日から12日までの3日間の日程で来町しました。

初日は、役場を表敬訪問した後、干物づくりを体験し、重文岩科学校も

見学しました。

2日目は、岩地海岸で地引網と海水浴を行いました。地引網にはいろいろな魚が入っており、生徒たちは手にとり記念撮影をしました。また、湾内でシーカヤックを体験する等、岩地の海を満喫しました。午後からは松崎中学校2年生と松崎海岸でビーチドッジボールや海水浴で交流を深め、楽しい時間を過ごしました。最終日は、体育館で安曇地区の生徒は安曇地区PRのプレゼン等を行い、松崎町の生徒は合唱を披露しました。



▲松崎海岸でドッジボール

【問合せ】

教育委員会(42)3971

体験活動の紹介

教育委員会では、豊かな自然に親しみ、健康で明るい子どもたちを育てるため、各種体験活動を実施しています。

海洋クラブは小学5年生から、みどりの少年団は小学4年生以上で活動しています。



▲「海洋クラブ」カヌー訓練

【B & G 松崎海洋クラブ】
B & G 松崎海洋クラブは、昭和60年に設立され、今年度は、クラブ員14人で5月中旬から8月中旬まで、毎週土曜日にカヌー訓練をしながら、海に親しむ活動をしました。



▲「みどりの少年団」田植え

【松崎町みどりの少年団】

松崎町みどりの少年団は、昭和55年に設立され、身近にある豊かな自然に触れる活動をしています。

今年度から「棚田百笑くらぶ」と統合し、石部の棚田での活動もしています。団員は12人で、4

月から記念植樹や畦塗り・畦付け、田植え等の活動をしてきました。

今後は、稲刈りや餅つき体験、海洋クラブと合同のスポーツ体験等を予定しています。

【問合せ】

教育委員会(42)3971

松崎高校広報く西豆と共にく

(連携型中高一貫教育)

1年生 職業体験実習

今年も、7月23日から25日までの3日間、松崎町・西伊豆町を中心とした賀茂地域の26の事業所で、1年生が職業体験実習を行いました。

【実習後の生徒の感想】

笑顔で人とコミュニケーションをとることは気持ちが良いことだと学んだ。コンビニの仕事はレジだけだと思っていたけど、裏でもたくさんのお仕事があり、想像よりずっと大変だった。

(セブンイレブン江奈店)

一番印象に残っているのは、利用者さんも従業員の皆さんも、笑顔が絶えなかったことです。この笑顔が職場の温かな雰囲気につながっているのだと思います。

(松崎十字の園)

地元

のさまざまな種類の事業所での体験研修を通して、地域の産業について



▲職場体験実習の様子

の理解を深めるとともに、望ましい職業観を育み、進路意識の高揚を図ることを目的としたこの実習を通して、生徒たちは多くのことを学びました。

キッズイングリッシュ

8月8日、松崎高校を会場に、松崎高校1年生が指導役となり、小学生に英語の楽しさを伝える「キッズイングリッシュ」

ツシユ



を実施しました。松崎・西伊豆両町の小学生13人が参加し、ゲームを通じて英語と楽しく触れ合う姿が見られました。

中高合同美術教室

8月8日、松崎高校を会場として、西伊豆中学の生徒2人と松崎高校美術コースの1年生3人が参加した、中高合同美術教室が開催され、静かな雰囲気の中で、鉛筆デッサンに取り組みました。



オープンスクールのご案内

【日時】 10月27日(土)

午前8時50分～
午後2時30分

【内容】 学校からの説明、授業見学、部活動見学 ※試合等により、当日不在の部活動があります。

【問合せ】

松崎高校(42)0131

100歳のお祝い

久保田ゆき子さん

(大正7年7月31日生)

7月31日、長嶋町長は久保田さんが入所している施設を訪問し、100歳の誕生日をお祝いしました。

長生きの秘訣を聞かれた久保田さんは、「食べ物がおいしく、昔から体が丈夫でした。皆さんによくしてもらって幸せです」と答えていました。



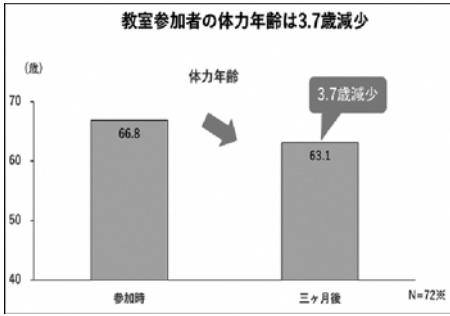
▲100歳のお祝いを受ける久保田さん

【問合せ】
健康福祉課(42)3966

スポーツウォーキング 健幸教室

町では7月から、町民の健康増進と町の医療費や介護費の削減を目的に、「スポーツウォーキング健幸教室」を開催しています。この教室は、昨年11月から3

月までモデル事業として実施したところ、約100人の方にご参加いただき、大変好評だったこと、参加者の体力年齢が3・7歳減少する等、健康度の向上に効果が見られたことから、今年度も開催することになりました。



▲昨年参加者の体力測定の結果

健幸教室では、毎週2回、水曜日と日曜日を基本に、専門指導者によるウォーキング指導、ストレッチ、筋トレ等が行われるほか、専用歩数計を付けていただき、自分に設定された目標歩数を目指して、毎日のウォーキングに取り組んでいただきます。



▲健幸教室の様子

現在約1000人の方にご参加いただいています。が、町では250人の参加を目標としています。今後、10月開始の第2期募集を予定していますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【問合せ】
企画観光課(42)3964

津波避難ビルの協定を締結

静岡銀行松崎支店(江奈2)は、建て替え工事が完了し、7月30日に営業が開始となりました。

町は、この静岡銀行松崎支店ビルの建物を、津波避難ビルとして災害時に活用する協定を、7月24日に(株)静岡銀行と結びました。

場から屋上への外階段等が整備されました。避難場所となる屋上の海抜は13・25メートルで、約88平方メートルの避難スペースがあります。

津波を伴う地震は、いつ発生するかわかりません。普段から、町内の津波避難場所や避難所等を確認しておくよう心掛けましょう。



▶オープニングセレモニーの様子



▲津波避難ビルとなった静岡銀行松崎支店

【問合せ】
総務課(42)3963

My Town Topics ～まちのできごと～



健康マルシェ

7月25日、峰輪公民館で「健康マルシェ」が開催されました。骨密度や握力等の測定、減塩野菜料理の試食、保健師と管理栄養士による健康相談等が行われました。



ビオトープ作り

7月30日、松崎中学校のホタルボランティア19人が、明伏地区で「ビオトープ作り」を行い、水路となる場所にスコップで土を掘る作業をしました。



鮎のつかみどり体験

7月31日から8月20日まで、道の駅花の三聖苑裏の那賀川で「鮎のつかみどり体験」が行われました。子どもたちは、泳ぎ回る鮎を捕まえると大喜びで見せ合っていました。



夏まつり

8月15日、岩地海岸および雲見海岸では花火大会が行われました。16日には、松崎地区で灯ろう流しや花火大会、盆踊り等の催しが行われ、多くの人で賑わいました。

（品揃えが良く値段が安い）をあげています。フォーバス氏は、6つの魅力のうち3つを創り、6つ全てをやったら個性が無くなると言いました。私は、①、②、③に「体験できる工夫」を加えたいと思います。ここ数年、観光客数・宿泊数・宿泊施設・飲食店が大きく減少しています。そこで、観光地としての受け皿である宿泊施設・

町長室からこんにちは ⑨

の「なまこ壁」に似合う対象は、着物や浴衣を着た女性であろうと、私はかなり前から思い続けていました。そこで、9月23日の長八まつりに合わせ、「なまこ壁」「神社仏閣」を歩いて巡るイベント「長八さんを路地で感じよう」を新たに開催します。皆様、どうぞこそぞって参加してください。

松崎町長
長嶋 精一

観光地の魅力について

米国の戦後最大の観光プロデューサーと言われたアラン・フォーバス氏は、観光地の魅力ポイントについて、①ヒストリー（歴史）、②フィクション（物語性）、③リズム＆テイスト（律動・躍動感・音楽・おいしい料理）、④ガール&ギャンブル（きれいな女性がいてスリルがある）、⑤サイトシーイング（景色・気候が良い）、⑥シヨッピング

飲食店を増やしていきたくないと考え、今年度から補助金制度を立ち上げました。少しずつ相談件数が増えています。もう、景観だけの観光、夏だけの観光では、観光地の財産である「なまこ壁」は全国に存在していますが、小さな我が町のように、これほど見事に集積している町は他に見当たらないでしょう。そして、こ

活動させてもらっている気持ちを持ってー

玉木 優吾さん(那賀)

キラリ、輝き人 No.44



▲松崎町から熊本への物資をNPOフードバンクふじのくにへ贈呈する玉木さん(右)

玉木さんは、阪神淡路大震災、三宅島噴火災害、西伊豆水害、東日本大震災、熊本地震、九州北部豪雨、西日本豪雨災害等の被災地で、被災された方々の生活早期再建のため、各種支援活動に参加されています。

玉木さんは、阪神淡路大震災、三宅島噴火災害、西伊豆水害、東日本大震災、熊本地震、九州北部豪雨、西日本豪雨災害等の被災地で、被災された方々の生活早期再建のため、各種支援活動に参加されています。



▲熊本県嘉島町の復興を願い河津桜を贈呈する玉木さん(左)

Profile

たまき ゆうごさん
下田市出身で、現在は那賀区在住です。
松崎町災害ボランティアコーディネートの会会員、しずおか茶の国会議事務局、ふじのくに防災士資格者等。
交通指導員としても活動しています。

公園を拠点にテント村で宿泊し、物資の運搬等のボランティア活動に1週間参加しました。中学生だった自分たちを、ボランティアとして受け入れてくれたことは、今でも印象に残っています。また、活動を『やってる』ではなく、『させてもらっている』という気持ちを持って参加しています。

「3日分の食料等を用意することも大切ですが、災害発生時、『自分の身を守ることをまず考えてほしいです。地震は予測できませんが、豪雨災害は天気予報等の情報から自分で動くことができます。日頃から、情報を耳にしておくの良いです。松崎町にはボランティアコーディネートの会があり、災害発生時に住宅の片付け等を行うボランティアがいることを皆さんに知ってほしいです」と話してくれました。

十勝開拓団「晩成社」

肖像画展のお知らせ

松崎町と帯広市は、十勝平野開拓の先駆者依田勉三翁の功績が縁で、1978年に開拓姉妹都市提携を結びました。今年はその記念の年です。

この40周年にあたり、帯広市の方が所有している十勝開拓団「晩成社」の肖像画の展示会を、松崎町で開催することとなりました。

《場 所》

旧依田邸(大沢153)

《日 時》

9月8日(土)、9日(日)、15日(土)〜17日(祝・月)、22日(土)〜24日(祝・月)、29日(土)、30日(日)

10時から15時まで

※旧依田邸の開館日(土・日・祝日)のみ、9月30日(日)は14時まで実施します。

【問合せ】

企画観光課(42)3964

晩成社は、依田勉三翁の北海道開拓の志をもとに、土地開墾・農業・牧畜等を目的として、1882年、依田家によって結成された会社です。松崎町からオベリベリ(現在の帯広市付近)を目指した方の数は、約10年間で総勢33人を数えます。

ストロブ！ 悪質商法被害くあなたも賢い消費者に(69)

「遺品整理サービス」

国民生活センターによれば、近年亡くなった親族等の遺品を整理・処分する「遺品整理サービス」につき、「見積りの際に契約をせかされた」、「解約を申し出たら高額のカンセル料を請求された」、「最終的に見積額を大幅に超える費用を請求された」、「処分しないしてほしいものまで処分された」等のトラブルがみられるようです。このようなトラブルを避けるためには、①複数の事業者から見積書(内訳をしっかりと記載したもの)を出してもらおう、②あらかじめキャンセル料等が書かれた書面を確認する、③依頼内容を明確にする(処分対象外の

【問合せ】
司法書士 山田茂樹
企画観光課 (42) 3964



町の人口と世帯

(平成30年7月31日現在)
()内は前月比
総人口 6,730人 (-10人)
男 3,204人 (-5人)
女 3,526人 (-5人)
世帯数 2,990戸 (±0戸)
転入 10人 転出 8人
出生 2人 死亡 14人

(7月届出分) 戸籍だより

おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
那賀	輝空	男	土屋佑斗
江奈3	佑真	男	石田洋介

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
江奈1	石田金男	63	より子
石部	高橋まつ	102	高橋弘之
岩地	齋藤武子	64	文彦
大澤	山本道子	88	光信
金沢	中村正良	75	充子
中区	萩原芳江	59	智秋
宮内	関衛	79	藤池昌史
道部	高木由貴子	69	義彦
江奈2	植松菊枝	96	英昭
雲見	石田栄二郎	63	渡辺周一郎
雲見	鈴木一由	85	ハナコ

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

無料相談所開設のお知らせ

静岡県行政書士会賀茂支部は、下記の日程により無料相談所を開設し、皆様の質問にお答えします。行政書士は、頼りになる街の法律家です。お気軽にご利用ください。

【日時】10月10日(水) 10:00~15:00
【場所】ベ이스テージ下田 4階第一会議室
【主催者】静岡県行政書士会 賀茂支部
【問合せ】深澤力 (TEL 22-1336)



松崎文芸

俳句

音高し火祭の日の昼花火
蚊帳の裾払いしことも遠き夢
山百合や猪の届かぬ崖に咲く
遙かなる追憶の蚊帳海の色
部屋の中会話遮る蝉時雨
蚊帳つりの鉄鉤残る古母屋
夕蟬の残りの明日数へけり
連日の炎暑に想う被災の地
野菜採る腕に藪蚊のつきまとう
二人きり蚊に喰はるるは妻の方
女教師の伝達の笛プールかな
寝室のぼつんと灯る蚊遺かな

松田美智子
稲葉菊恵
佐藤享
夏目和子
石田宏
齊藤みつ子
鈴木基
土屋規矩子
吉岡うた子
山本一詞
細矢金治
清水高子

町の交通事故

平成30年7月発生分
()内は前年同月比
人身事故 4件 (+2)
物損事故 16件 (-5)
死者 0人 (±0)
傷者 4人 (+2)